

おほとものすくねみより
大伴宿禰三依、離れてまた逢ふことを飲ぶる

歌一首

六五〇番

我妹子は 常世の国に 住みけらし 昔見しより
をちましにけり

おほとものすくねみよりのいらつめ
大伴坂上郎女の歌二首

六五一番

ひさかたの 天の露霜 置きにけり 家なる人も
待ち恋ひぬらむ

六五二番

玉守に 玉は授けて かつがつも 枕と我はい
ざ二人寝む